

うみ・ひと・くらし地域ミニシンポジウムin奄美大島について

平成29年5月17日(水)

企画・栽培養殖部

“うみ・ひと・くらしフォーラム” (関 いづみ/東海大学, 三木奈都子・副島久実/水産大学校) は、様々な立場から海に関わる女性を中心に漁村の今とこれからを考える任意のグループとして活動していますが、昨年11月13日(日)、名瀬漁協に奄美大島本島内の4グループ約20名の女性加工・販売グループが集まり、グループの設立目的や加工・販売品目等について報告の後、テーマである“夢”や“自分達の活動”について、日頃の思いの丈を熱く熱く語って貰いました。

今回は、その際に要望のあった『衛生管理について』の研修会ということで、講師に枕崎市漁協の揚野 功総務部次長を迎え、奄美群島内の加工・販売グループの方々約30名が集まりました。

今回のテーマは、“日頃の自分たちをちょっと見直してみよう～まな板、包丁の管理どうしてますか?”ということで、講演の後に、自分達が日頃実施している作業内容等を記入して貰い、それを講演内容と比較して、自己点検しながら、細かくチェックするという実践的な研修内容で、参加した女性達は早速、明日から実践するとの意気込みで大変有意義な研修会となりました。

また、今回の研修会では、大分県の“漁村女性グループめばる”で雑魚で『ゴマダシ』を製造販売している桑原政子代表にも参加いただき、商品開発から販売に至るまでの経緯についても講演いただき、多くの女性グループの方々の励みになっていました。

- 1 開催日時……………平成29年 **5月15日(月) 14:00~17:40**
- 2 開催場所……………**名瀬漁業協同組合 大会議室**
- 3 参加者等……………約30名/奄旨海房 魚匠, 奄美小町, すみよう漁業集落女性部, 瀬戸内漁協女性部, 宝勢丸鯉漁業生産組合, ほか
- 4 討論内容……………日頃の自分たちをちょっと見直してみよう～まな板、包丁の管理どうしてますか?

